

平成31年3月4日招集

第15回鏡石町議会定例会

町長説明要旨

本日ここに、第15回鏡石町議会定例会の開会にあたり、町政運営に当たっての所信の一端を申し述べるとともに、提出いたしました議案の概要について、ご説明を申し上げます。議員各位並びに町民の皆様の一層のご理解とご協力を賜りたいと存じます。

本年は、5月1日の新天皇即位に伴い新しい元号となりますが、安倍首相は、新しい元号を即位1ヶ月前の4月1日に公表する方針を固めました。そもそも天皇の退位は初めてであり、新天皇が即位する前に新しい元号が公表された例もありませんでした。政府としては、伝統にのっとり即位当日に公表するように求める声に対し、国民生活への混乱を避けることを優先したものであり、国民の理想としてふさわしい良い意味を持つ新元号の発表を待ちたいと思います。

さて、福島県にとって嬉しいニュースが届きました。第24回全国都道府県対抗男子駅伝競走大会が広島市で開催され、本県代表が悲願の初優勝に輝き、さらに東北勢でも初めての優勝となりました。本県代表は、1区から先頭集団に付け、最終7区では箱根駅伝でも活躍した東洋大の相沢晃選手が、区間賞の走りで優勝のゴールテープを切り、駅伝王国を全国に印象づけました。本県にとって、輝かしい新年のスタートとして元気な「ふくしま」をアピールできたことは、原子力発電所事故からの風評被害の払拭にも一役買ったのではないかと思うところがあります。

一方、同じスポーツ界で衝撃のニュースが伝えられました。東京オリンピックのメダル候補である競泳女子の「池江璃花子」選手が、自身のツイッターで「白血病」と診断されたことを公表しました。まだ詳しい診断内容は発表されておられません。池江選手は「私自身、未だ信じられず、混乱している状況ですが、しっかり治療をすれば完治する病気でもあります。」さらに「今は治療に専念し、

一日でも早く、さらに強くなった池江璃花子の姿を見せられるように頑張っていきたいと思います。」と話しており、今後の推移を温かく見守っていききたいと思っています。

先月22日には、探査機「はやぶさ2」が地球から3億4千万キロ離れた小惑星りゅうぐうに着陸したと発表がありました。今回着陸した地点は、わずか半径約3メートルという狭さであり、日本の高い技術が世界に示されました。

特に今回の「はやぶさ2プロジェクト」には、県内の会津大学や企業が携わっており、その中には町内の企業も一役買っていることから、今後のミッションを成功させ、2020年末無事に帰還することを祈っております。

第198回通常国会が1月28日に召集されました。

安倍首相は、施政方針演説で「平成最後の国会であり、新しい時代が始まる国会ともなる。予算の早期成立を期し、教育無償化など重要法案の成立を図って国民の期待に応えていきたい。」と述べ、10月からの消費税率10%への引き上げについては、少子高齢化克服と全世代型の社会保障制度構築のためには「消費税率引き上げによる安定的な財源がどうしても必要」とし、改めて増税断交への国民の理解と協力を求めています。新年度予算案は、歳出総額で101兆4千571億円と初めて100兆円を超える過去最大を更新しており、今後3月末までの成立を目指して予算委員会等での論戦が続けられています。

政府における平成31年度の経済財政運営については、引き続き「経済再生なくして財政健全化なし」を基本として、600兆円経済と財政健全化目標の達成の実現を目指すとされ、持続的な成長経路の実現に向けて潜在成長率を引き上げるため、一人ひとりの人材の質を高める「ひとづくり革命」と、成長戦略の核となる「生産性革命」に最優先で取り組んでいくとしています。

平成31年度の我が国の経済は、雇用・所得環境の改善が続き、経済の好循環がさらに進展する中で、内需を中心とした景気回復が見込まれ、物価についても、景気回復により、需給が引き締まる中で上昇し、デフレ脱却に向け前進が見込まれています。

次に、今年度の主な主要事業の執行状況についてご報告いたします。

はじめに原子力災害対策関連事業につきましては、久来石と高久田地区の仮置場原形復旧工事は、年度内完了に向けて順調に進捗しておりまして、平成24年度から開始しました除染等事業につきましては、今年度末で全て完了となります。

放射能汚染に伴う自家消費野菜等及び、風評被害対策としての農産物並びに土壌等の放射性物質検査については、平成23年度からの検査開始以降、平成26年度まで自家消費野菜等における野生きのこやタケノコ類から基準値を超える数値が出ておりましたが、その後は基準値を超える数値が検出されたケースはありません。また、学校給食食材放射能測定事業についても、現在までに基準を超える食材は検出されてはいません。今後も引き続き町民の安全・安心な食生活の確保と消費者への信頼回復のため測定業務を進めて参ります。

道路等側溝堆積物撤去・処理支援事業につきましては、仁井田・鏡石4区、鏡田東区、さかい区の撤去が1月末に完了し、旭町区、笠石西区、笠石東区につきましても、ほぼ完了しております。現在は、堆積物を随時最終処分場へ搬出を行っており、年度内の搬出完了に向け調整を進めております。

1月13日に行われた成人式は、華やかな中にも厳粛に式が執り行われ、138名がめでたく成人を迎えられました。

新成人の皆様には、一人ひとりが自らを律する強い意志と、社会人としての自覚と責任をもって、日々の生活を有意義に送っていただきたいと思っております。

公園施設長寿命化事業としての（鳥見山公園野球場のネットフェンス改修工事）につきましては、計画どおり改修工事が完了いたしました。間もなく春の野球シーズンとなりますので、また多くの皆さんにご利用いただきたいと思います。

地域づくりの核であり、新たな町の顔として、町内外の方に親しまれてきている、鏡石まちの駅「かんかんてらす」は、管理運営団体である鏡石町観光協会の創意工夫のもと、1月末で来館者数が、当初の目標を上回る延べ32,024人、売上額は町内農業者などからの新鮮な農産物や特産品、手工芸品などの販売額は、11,963千円となっております。オープン以来、町の観光情報の発信拠点と憩いの場として、町の賑わいの創出に寄与しているものと考えておりますので、引き続き町民の皆様はもちろん、町外からも多くの方にご利用いただき、親しまれる施設となるように努めて参ります。

今年度の「田んぼアート事業」につきましては、1月9日で約7ヶ月に及ぶ観覧期間が終了したところであります。「きらきらアート」を含め、年間観覧者数は、昨年並の32,010人の多くの方に観覧いただき、鏡石町の観光スポットとして定着してきております。なお、来年度のテーマは「眠れる森の美女」としてデザインはアニメーターの湖川先生のご好意のもとで進めております。

次に第5次総合計画に基づく5つの行政分野別目標の事業について申し上げます。

一つめの「町民と力を合わせて、新しい鏡石をつくります」として、一般会計における今年1月末の収納率につきましては、現年度分83.43%と前年同期に比べ0.48%の減少となっております。原因としては大規模設備投資が一段

落し、法人税及び固定資産税の全体調定が落ち込んだため全体的な収納率に影響したためと分析しております。この収納率向上対策として今回新たに新規の滞納者に向けまして納付のお知らせを發布して、早期の納付勧奨に努めております。

また、「コンビニ収納業務」における昨年12月末での実績では、件数で8,127件（前年比676件の増）、納税額で112,974千円（前年比2,613千円の増）と全税額の約7.8%を占めております。全国のコンビニ、そして24時間対応という便利さから、その効果が確実に現れているものと分析しており、税の公平・公正の確保のため、今後も更なる収納強化対策を講じて参ります。

地方税電子申告システム導入事業につきましては、法人町民税や償却資産の電子申告等が行われ、納税者の利便性が図られているところです。地方税の電子化の進展としましては、共通電子納税システムが構築され、来年度からは、一部の地方税で電子納税が可能になるなど納税環境の整備が図られることとなります。

社会保障・税番号制度につきましては、いろいろな施策により利便性の向上が図られ、より一層の普及に取り組んでおります。マイナンバーカードの発行状況につきましては、全国では12月末現在、12.2%であり、本町においては2月14日現在、1,280件で10.1%の交付割合となっております。引き続きカード発行の推進に努めるものであります。

二つめの「心豊かで人を育て、地域文化を大切にす鏡石をつくります」として、各学校・幼稚園においては、卒業・卒園式を控え、総まとめの時期として学習の効果測定や、進級・進学に備えた学習が行われております。

また、「学校支援地域本部事業（通称：学校応援団）」につきましては、2月末の時点で延べ369名のボランティアにより、支援件数32件、延べ125回にわたり、幼稚園、小・中学校の活動支援を行って参りました。

コーディネーターによるきめ細かなサポートにより、地域の人々が個々の特性を生かして教育活動を支援することで、地域の教育力、地域コミュニティの再生が図られているものと考えているところであり、ボランティアとして参加いただいている皆様に感謝申し上げるとともに、地域ぐるみで子ども達を育てるという意識をさらに高めて参りたいと思います。

生涯学習文化協会と公民館の共催事業として「いきいき学級」や「ジョイフルライフ講座」をはじめ、公民館事業として開催した「アドベンチャークラブ」やまちづくり講座としての「花画美塾」の事業も予定通り終了し、2月末に閉講式を行ったところです。種々の学習・講座を通して、町民の皆様が生きがいに満ちた生活を送ることができるよう、これからも生涯学習の環境と内容の充実に努めて参りたいと思います。

「町民保健と健康づくりの支援」につきましては、今年度の特定健診結果に基づき、1月に血圧や血糖、腎機能で要指導・要医療と判定された方を対象に「個別相談会」を実施しました。

また、特定保健指導対象者へ「ダイエット教室」や「筋トレ教室」での運動の習慣化を図り、「栄養教室」や個別指導の充実により、食生活の改善に取り組んでいるところであり、管理栄養士を中心に高齢者の食生活を改善する訪問事業「生き生き幸せ食生活応援団事業」において今年度98名を訪問し、平成27年度から延べ371名に対して食生活の状況の聞き取りを行い、食生活の改善指導やアドバイスを実施いたしました。さらには幼稚園・保育所での食育教室を8回開催いたしました。

三つめの「地域で支え合う、人にやさしい鏡石をつくります」につきましては、高齢者福祉の充実として、第8期高齢者保健福祉計画及び第7期介護保険事業計画に基づき、認知症や介護が必要になっても住み慣れた地域で暮らし続けるため

の「地域包括ケアシステム」の構築に努めております。そのひとつとして、鏡石町協議体「みんなで支え合うまちづくり会議」におきまして、「協議体づくりの基本」と題して、先月18日に白百合女子大学の先生を迎え、今後の運営について勉強会を行うとともに、今年9日には鏡石町と天栄村認知症初期集中支援チーム普及啓発事業として、「認知症セミナー」を「文化の森てんえい」において開催を予定しております。今後も高齢者のみなさんが住み慣れた地域で、自分らしくいきいきと安心して暮らせるまちづくりを目指して取り組んで参ります。

児童福祉の充実として、学校法人 栄光学園が2カ年事業で進めておりました「認定こども園ぶどうの木」の園舎増改築事業については、まもなく竣工いたします。新年度から素晴らしい環境の下で、豊かな個性を育みながら、子どもが自ら生きる力を高め共に生きることを喜びとする保育が行われることに期待をしております。

また、今年度から鏡石町社会福祉協議会が運営しております公私連携型保育所「鏡石保育所」は、間もなく1年が経過しますが、保護者をはじめ関係者の協力・ご理解により、順調に運営されているところであります。

障がい者福祉の充実においては、「第5期障がい福祉計画」に基づき、共生社会の実現と可能な限り身近な地域で支援を受けられるなどの障害者総合支援法の基本理念のもと、障がい者自立支援事業等のサービスの利用促進並びに相談事業の充実を努めております。

国民健康保険については、今年度から運営が都道府県単位に広域化されて、順調に推移しているところであります。被保険者数につきましては、社会保険加入条件の緩和などを背景として年々減少しており、1月末現在で2,872名と昨年4月当初の2,994名から4%弱の減少となっておりますが、一方療養費については、医療の高度化により治療できる範囲が広がったため増加傾向にあります。町としては健康寿命の観点から、病気にならないための予防に重点を置いた

保健事業等を推進し、医療費の削減を図って参りたいと考えております。

四つめの「新しい産業を開花させ、活力あふれる鏡石をつくります」として、水田農業の推進については、平成30年産から生産数量目標の配分がなくなり、米の直接支払交付金が廃止されたことから、生産が主食用米へシフトしている状況であります。年々減少していく主食用米の需要に応じた生産に努め、米価の安定を進める必要があることから、各農家に「生産数量と（面積）の目安」の提示と各種の制度についての説明会を去る2月19日から4日間、町内8箇所で開催したところであります。引き続き、国の制度を活用した経営安定対策に取り組み、農業経営が継続されるよう情報の提供と主食用米に頼らない水田のフル活用に向けた支援に努めて参ります。

多面的機能支払交付金事業につきましては、町内8組織において、農地維持活動、資源向上活動、施設の長寿命化活動に取り組み、総額65,548千円を交付したところであります。次年度の実施に向けましても、事業計画がスムーズに行われるよう引き続き支援して参ります。

農地再生プロジェクト事業「田んぼで油を採ろう・かがみいし油田計画」は、収穫された「なたね」を「なたねの雫」として、鏡石まちの駅「かんかんてらす」で販売を開始したところ、健康志向の観点から好評を博しております。

また、一般住民モニターの募集や町内飲食店へ試供品としても提供しているところであり、今後様々な意見を頂きながら利活用の検討を図るとともに、なたね油の効能などについても、広くPRして参りたいと考えております。

1月18日には、学校給食として活用頂くため、町内小中学校へ1斗缶12缶を無償提供したところであります。今年の作付面積は、昨年より5.5ha多い約6.5haとなったことから、町民の健康づくりと景観作物としても油田計画の推進を積極的に図って参りたいと考えております。

6次化推進・販路拡大プロジェクト事業として実施している農産物PR支援事業では、昨年9月の東京都千代田区や今年1月に世田谷区で開催されたイベントなどで、鏡石町産農産物の販売PR活動を支援し、生産農家の皆様自らの販路拡大に向けた活動支援を実施したところであります。

五つめの「快適に暮らせ、住んでみたくなる鏡石、訪ねてみたくなる鏡石をつくります」の、鏡石駅東第1土地区画整理事業第1工区におきましては、関連工事が順調に進捗し、多くの住宅建設が進み事業効果が感じられる状況となって参りました。現在は、街区公園の整備に向け、新年度には工事に着手できるよう設計業務を進めております。

保留地の販売につきましては、今年度予定の5区画のうち、4区画の販売が完了し、残りの1区画についても、申込みの事務手続き中であります。

また、第3工区につきましては、地権者の皆様への個別説明を実施して参りましたが、概ねのご理解をいただきましたので、工事着手に向けた調査設計事業を進めております。新年度予算におきまして、計画変更の認可申請・仮換地公告・造成工事などを提案して参りたいと考えております。

道路網の整備・安全対策事業につきましては、中外線道路改良工事や大池交差点道路改良工事、久来石・行方・蓮池西線改良舗装工事、その他生活関連道路の補修工事・側溝整備事業など完了に向け進捗中であります。

第5次上水道拡張事業については、新浄水場の新年度建設工事発注に向けた準備を進めているところであり、拡張関連の導水管、配水管布設工事及び現在施工中であるJR東北本線線路下の配水管布設推進工事につきましては、年度内の完了に向け工事を進めております。

公共下水道においては、社会資本整備総合交付金事業により平成28年度に実施した下水管路の緊急度・健全度調査に基づいた施設の長寿命化対策を進めてお

り、今年度約75mの更新工事を完了しました。

次に、新年度予算の概要について申し上げます。

平成31年度の、予算編成にあたりましては、本町を取り巻く極めて厳しい財政状況を認識し、国・県の動向や住民ニーズ等の情報収集と各種事業の必要性や今後行政が担うべき役割を検証した上で、限られた財源で最大の事業効果を発揮するよう一層の創意工夫を凝らし、持続可能な財政構造の確立に向け、各種補助制度等を有効に活用しながら、町政運営の基本方針を示す第5次総合計画における施策評価を行うとともに、まちの将来像である「かわる かがやく “牧場の朝” のまち かがみいし」の実現に向け、5つの柱を基軸に各種事業への重点的かつ効果的な配分に努めたところであります。

なお、平成31年度の予算額を申し上げますと、一般会計については、前年度比3.6%減の5,968,000千円、特別会計、企業会計を合算した総額につきましては、前年度比4%増の105億1,180万円となりました。

次に、一般会計の歳入歳出予算の概要について申し上げます。

歳入として全体の約26%を占める町税につきまして、個人町民税は、6.6%増の5億666万円、法人町民税は、9.2%減の1億1,020万円、固定資産税にあっては、0.4%減の8億2,725万円と町税全般で、前年度比1.2%増の15億6,379万円を計上したところであります。

地方交付税は、臨時財政対策債を含め、前年度比14.4%減の17億7,196万円を計上しており、新ごみ処理施設建設負担金に係る震災特別交付税の減少が主な要因であります。基金からの繰入金については、財政調整基金から3億7,966万円のほか、減債基金から4,000万円、ふるさと鏡石ありがとう基金などから、全体で5億1,548万円を計上しております。

町債については、臨時財政対策債を除き、1億5,670万円と抑制計上した

ところであり、将来の財政負担を考慮しながら、基金取り崩しなどの措置を講じることにより財源を確保したところでもあります。

一方歳出面においては、「第5次上水道拡張事業」や子どもから高齢者までが「笑顔と健康」で暮らせるまちづくりの拠点となる「(仮称)健康福祉センター整備事業」等を展開しつつ、引き続き徹底した事務事業の見直しと経常経費の圧縮を図りながら、町政運営の基本方針を示す第5次総合計画のもと、新たな感覚で施策評価を行い、人口減少の克服と地方創生に向けて、各種事業の重点的かつ効果的な配分に努めた予算編成としたところでもあります。

主要事業につきましては、「被災者支援事業」「原子力災害対策関連事業」「子育て支援関係事業」「進化する鏡石実行プロジェクト」とした4分野と、第5次総合計画における行政分野別施策として5分野の事業に取り組むこととしております。

「被災者支援事業」としては

- ・災害援護資金貸付事業
- ・被災した子どもの健康、生活対策総合支援事業 で総額6,776千円

「原子力災害対策関連事業」としては

- ・道路等側溝堆積物撤去、処理支援事業
- ・ふくしま森林再生事業
- ・食品等モニタリング事業等 で総額763,720千円

新規事業として「子育て支援関係事業」は

- ・(仮称)健康福祉センター整備のための基本計画策定事業
- ・子育て世代包括支援センター事業
- ・出生支援事業(特定不妊治療費助成)
- ・病児保育事業
- ・出産支援金支給事業

- ・ブックスタート事業
- ・オリジナル婚姻届作成事業
- ・プレミアム付商品券事業 で総額20,920千円

「進化する鏡石実行プロジェクト」としては

- ・駅に降りてみたくなる事業
- ・通りを歩いてみたくなる事業
- ・住んでみたくなる事業 で総額44,186千円

などに取り込むこととしております。

次に、第5次総合計画における行政分野別施策としては、

*町民参加と行財政運営分野では

- ・公共施設等維持管理事業
- ・ふるさと鏡石ありがとう事業
- ・町税等収納率向上対策事業
- ・旅券法事務権限委譲に係る事務委託事業等 総額123,178千円

*教育・スポーツ・健康づくり・文化振興分野では

- ・小学校町民プール利用事業
- ・学校司書配置事業
- ・町図書館維持管理事業（展望室改修事業等）
- ・体育協会、かがみいしスポーツクラブ支援
- ・健康増進予防接種事業
- ・母子保健事業等 総額251,356千円

*福祉・安全安心・コミュニティ形成分野では

- ・在宅高齢者福祉事業
- ・生き生き幸せ食生活応援団事業

- ・保育施設運営補助事業
- ・認定こども園整備事業
- ・児童ふれあい交流館事業（放課後児童クラブ）
- ・空き家対策事業
- ・東町公園内防火水槽設置事業等 総額3,310,137千円

*産業振興分野では

- ・農地再生プロジェクト事業（かがみいし油田計画）
- ・水田フル活用推進事業
- ・農業人生応援プロジェクト事業
- ・創業スタートアップ支援事業
- ・地域づくり事業（鏡石まちの駅運営事業）
- ・梨池下地区の県営ため池等整備事業等 総額291,368千円

*都市整備・都市開発分野では

- ・鏡石駅東第1土地区画整理事業
- ・社会資本整備総合交付金事業
- ・公道及び生活関連道路整備事業
- ・第5次上水道拡張事業等 総額1,520,449千円

などに取り組む予定であります。

次に、今定例会に提出いたしました議案の概要について申し上げます。

議案第248号 鏡石町鳥獣被害対策実施隊設置条例の制定につきましては、鳥獣による農作物の被害を防止するため、鳥獣被害防止特措法の規定に基づき実施隊の設置について条例を制定するものであり、議案第249号 職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例の制定については、働き方改革関連法の施行に伴い、職員の超過勤務命令時間の上限について規則に委任するもの

であります。

議案第250号 鏡石町ひとり親家庭医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例の制定につきましては、児童扶養手当法の改正に伴い所得の適用年度について所要の改正を行うものであり、議案第251号 鏡石町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定については、学校教育法の改正による放課後児童支援員の基礎資格の規定を改正するものであります。

議案第252号 鏡石町国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定については、町の国保基金について、その使用用途、基金の積立規定の一部を改正するものであり、議案第253号 災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例の制定については、上位法の一部改正に伴い災害援護資金の貸付規定について貸付利率等の所要の改正を行うものであります。

議案第254号 須賀川市と鏡石町との一般旅券の申請受理及び交付等に関する事務の委託に関する規約の締結に関する協議については、12月県議会で旅券法に係る事務処理の権限移譲が議決され、6月1日の施行に向け、権限移譲された事務を岩瀬郡及び石川郡全町村で須賀川市へ事務を委託するための規約の議決をお願いするものであり、議案第255号 町道路線の認定、廃止については、鏡石駅東第1土地区画整理事業第一工区内の区画道路等の認定について議決をお願いするものであります。

議案第256号 平成30年度鏡石町一般会計補正予算(第5号)につきましては、年度末の事業費確定に伴う整理予算であります。主な歳入は法人町民税40,000千円、震災復興特別交付税70,140千円の増額、道路等側溝堆積物撤去業務の実績に伴う福島再生加速化交付金100,000千円を減額するもの。主な歳出は、須賀川地方保健環境組合ごみ処理施設更新事業分賦金8,923千円の増、道路等側溝堆積物撤去業務委託料200,000千円などの減額

補正であり、総額2, 168千円の増額補正予算であります。

今年度繰越明許費につきましては、高速道路跨道橋における社会資本整備総合交付金事業として132, 814千円、旭町地内の道路雨水対策事業として8, 664千円の2事業で総額141, 478千円を設定するものであります。

議案第257号 鏡石町国民健康保険特別会計補正予算(第3号)から議案第259号 鏡石町介護保険特別会計補正予算(第3号)については、年度末の事業確定に伴う補正予算であり、議案第260号 鏡石町育英資金貸付費特別会計補正予算(第1号)については、貸付金の確定等に伴う補正予算であります。

議案第261号 鏡石町公共下水道事業特別会計補正予算(第4号)及び 議案第262号 鏡石町上水道事業会計補正予算(第4号)につきましては、年度末の事業費確定に伴う補正予算であります。

議案第274号 特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定については、農業委員会の委員等について他自治体との比較により報酬を見直すための一部改正であります。

以上、今定例会にあたりまして、町政運営と、提出いたしました議案の概要についてご説明申し上げました。何卒よろしくご審議いただき議決賜りますようお願い申し上げます。